包絡線定理

YOON SEUNGWON

2013.06.06

1 包絡線定理

t をパラメターとする微分可能な関数 f(x,t) が与えられたとき,

Animation using generator in FuncAnimation

import matplotlib.pyplot as plt

$$f(x,t) = 0 (1)$$

によって曲線群が定まる. すなわち、t をある値に固定すれば、(1) を満たすx の関係を表す曲線 (今の場合は直線) が 1 つ定まる. t も値を変えれば、別の曲線が定められるので、(1) は t をパラメターとする曲線群を示していると考えられる. t を連続的に変えたとき、この曲線の位置や形は連続的に変れる. ある曲線が、上の各曲線 (1) に接し、しかも接点の軌跡となっているとき、その曲線 (1) を満たす曲線群の包絡線という.

2 Python プログラムコード

ここでは、基本の例として $f(x,t)=tx-t^2$ の包絡線を導くために作ったコードについて説明する。t の範囲を与えて、その最小値から最大値までの直線を跡を残しながら順番に引いて行くアニメーション効果を表すコードになっている。

```
from matplotlib import animation
import numpy as np

# Define constants
VERSION = 1
if VERSION == 2:
    # plt.axes(xlim=(-x_Bound, x_Bound), ylim=(y_Lower, y_Upper))
    x_Bound = 35
    y_Lower, y_Upper = -100, 200
    # x = np.array([x_Min, x_Max])
    x_Max = 50
    x_Min = -x_Max
```

```
\# t = -t_{max}, -t_{max} + 1, ..., t_{max}
    t_Max = 20
    Interval_ms = 80
elif VERSION == 3:
    x_Bound = 50
    y_Lower, y_Upper = -100, 600
    x_{Max} = 50
    x_Min = -x_Max
    t_{Max} = 60
    Interval_ms = 50
else:
    VERSION = 1
    x_Bound = 20
    y_Lower, y_Upper = -50, 100
    x_Max = 50
    x_Min = -x_Max
    t_{Max} = 8
    Interval_ms = 100
fig = plt.figure()
ax = plt.axes(xlim=(-x_Bound, x_Bound), ylim=(y_Lower, y_Upper))
ax.axhline(linewidth=2.0, color="black")
ax.axvline(linewidth=2.0, color="black")
fig.suptitle('Envelope Theorem.ver' + str(VERSION), fontsize=20)
plt.xlabel('x', fontsize=16)
plt.ylabel('y', fontsize=16)
ax.grid()
line, = ax.plot([], [], 'r-', lw=4)
def f():
    line.set_data([], [])
    return line,
def t_gen():
    t = -t_Max
    while t <= t_Max:</pre>
        yield t
        t += 1
def animate(t):
    x = np.array([x_Min, x_Max]) # Two points are enough to determine a line
```

```
y = t*x - t**2
ax.plot(x, y, 'b-')
line.set_data(x, y)
return line
```

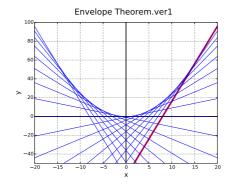
plt.show()

3 自分のpython コードの改善点

アニメーション効果は、python のガイドや WEB ページでの説明を参考にするとその形式を作るのは簡単である。重要なことは関数の形をどう定義するかだと思う。その改善点としては、上述したコードだと三つの場合しか表せない。故に、t の範囲の設定がバージョンごとに三つしか出来ないので一般的な形だとは言えない。本当は、t の値から x の範囲や y の範囲も求めさせる計算式を作るべきである。

参考文献

[1] 尾山大輔・安田洋祐「経済学で出る包絡線定理」『経済セミナー』2011 年 10・11 月号.



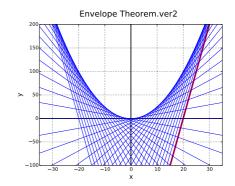


図 1: 一つめの図

図 2: 二つめの図